

Forest 通信

vol.133

森林インストラクター東京会 会報

2021年12月16日発行

合格おめでとうございます!

森林インストラクター2021年度(令和03年度)資格試験合格の皆さま、合格おめでとうございます。森林インストラクター東京会(FIT)は、現在登録会員346名(2021年11月30日現在)で、東京を中心に、25年以上にわたり幅広いフィールドで活躍しています。活動の詳しい内容については、FITホームページをご参照ください。



東京都在住の新合格者は、以下の皆さまです。皆さまのご入会を心よりお待ちしております。(敬称略・五十音順)

秋山 雅信, 井上 日出生, 岩田 雄介, 氏家 清高, 大西 正弘, 長田 眞,
小野寺 兼人, 加藤 達也, 河合 勇樹, 熊坂 由美子, 栗原 悦郎,
小林 綾香, 田中 和江, 田中 雅紀, 田中 裕子, 新倉 和宏, 吉川 良子,
渡辺 司

(この名簿はFITが入会説明会に使用することを限定に、(一社)全国森林レクリエーション協会より提供されたものです。)

2022年(令和4年)新年会(新合格者FIT入会説明会・新年観察会)のご案内について

森林インストラクター東京会(FIT)の皆さま、FIT30年(みわの会)芝原です。やっと再開となりました新年自然観察会開催のご案内です。

今回は「みわの会」が運営を担当させていただきます。本当は希望する方を

皆さん迎え入れたかったのですが、コロナ感染防止を考慮し今回は参加人数を制限させていただきました。申し込み先着順50名までとさせていただきます。感染防止、園内の人数制限を熟慮の上決めさせて頂きました、何卒、ご容赦ください。また今回はFITとしての新年懇親会は企画しておりません。



一年をかけて準備をしてきました。人数制限しておりますが是非、新年自然観察会にご参加ください。みわの会並びに、スタッフ一同お待ちしております。

開催日：2022年（令和4年）1月8日（土）

1.新合格者FIT入会説明会（該当者のみです）

1)会場：五反田カンファレンス（87席）

東京都品川区西五反田 2-5-2

五反田東幸ビル6階（赤レンガのビルです）

<https://gotanda-conference.com/gotanda-conference/>



2)アクセス：（電車のみ案内）

JR「五反田」駅西口より徒歩 5分以内

都営地下鉄浅草線／東急池上線五反田駅

3)受付開始・終了 9時30分～9時40分（時間前は入室できません）

受付場所は、6階貸し会議室前

※名簿確認次第、会議室へお入りください。



4)新合格者FIT入会説明会時間：9時45分～12時10分

※FITの組織や活動等その概要と各部会について説明を行います。
※新合格者の代表・連絡担当決めおよび、高尾親子自然観察会の説明も行います。

※FIT所属クラブ代表よりクラブの紹介を行います。

※移動「新合格者FIT入会説明会」会場から「新年自然観察会」の場所まで

①電車での移動約30分 JR「五反田駅」から「目黒駅」の乗車

②徒歩での移動約30分

※FIT入会、新年自然観察会へ参加される方は、昼食をご持参ください。なるべく昼食が取れる様に時間配分をいたします。

2.新年自然観察会

1)会場：国立科学博物館附属自然教育園

<http://www.ins.kahaku.go.jp>

2)アクセス:(電車のみ案内)

J R山手線目黒駅東口及び、東急目黒線目黒駅より目黒通り徒歩9分

東京メトロ南北線及び、都営地下鉄三田線白金台駅1番出口より目黒通り徒歩7分

3)受付開始・終了12時40分～13時10分

受付場所は、自然教育園正門入って左側の広場

※受付(名簿確認)後、自然観察会資料をお渡しいたします。

4)新年自然観察会時間:13時20分～15時30分

(各班で振返り15時20分～15時30分)

集合場所:自然教育園内奥の武蔵野植物園付近の広場

※園内の案内スタッフは配備しておりませんので、受付後は入口に置いてあります園内地図をお取りの上、集合場所へ各位移動願います。

※園内はトイレの設置が少ないため、教育管理棟1階(ミュージアムショップ奥)のトイレにて手洗い含め是非お立ち寄りください。

※受付時間を過ぎて参加されます方は、FIT腕章をしています付近の班に合流ください。

その場合、FIT腕章をしていますスタッフへ入会年度、お名前をお知らせください。

※新年自然観察会の次第は、斉藤会長の新年挨拶、新合格者の自己紹介、その他、自然観察会です。

※新年自然観察会のテーマは「森林インストラクター初心者向け案内」です。

5)入園料:一般・大学生320円 65歳以上の方は無料です。

但し年齢が分かる証明書等を持参し提示ください。

※各自お支払いの上、ご入園ください。

6)留意事項

・参加される会員の方は、FIT名札・マスクの着用をお願いいたします。

新合格者・新入会者の方は、マスクの着用をお願いいたします。

・園内は狭いですので、「一般の方のご迷惑にならない行動」を切に願います。

・参加キャンセル場合は、速やかにご連絡をお願い致します。

問い合わせ及び連絡先

みわの会 e-mail fitoyako31@gmail.com

以上、当日皆さまとお会いできますこと、みわの会一同楽しみにしております。

★重要なお知らせ★

1. 新合格者の方に森林インストラクター東京会(FIT)入会のお誘い

今年合格された方は、是非森林インストラクター東京会(FIT)への入会をお勧めします。入会手続きは、合格者の皆様に別途郵送する入会説明会の資料をご参照ください。なお、入会のご意向の有無に拘らず、2022年1月8日(土)の新合格者入会説明会、新年観察会などへの参加を歓迎します。FIT活動の理解や新しい仲間との面識など得るものも多いと思います。入会説明会・新年観察会への出欠は、資料に同封したハガキあるいはFIT事務局あてメールsfujioka0206@yahoo.co.jpにてご回答ください。

2. 2022年度(令和4年度)年次総会開催について (ご予約ください)

●日時:2022年3月12日(土)13時~17時(受付12:30より)

・総会の前後に講演会、懇親会も予定しています。

●場所:茗荷谷「林野会館」(例年の「林友ビル」とは違いますので、ご注意願います。)

3. 会費納入(2022年3月1日~2023年2月28日分)に際し、自動払込手續のお願い

ご存じの通り会費の納入は、原則としてゆうちょ銀行の自動払込を利用いただいています。事務量の削減のためにも、まだ手続きをされていない方は、差支えのない限り自動払込にご協力いただきますようお願いいたします。申込用紙はホームページの(旧)会員のページ「その他文書」にあります「自動払込利用申込書」をダウンロードの上(もしくは事務局あて用紙請求)、1月25日までにお申し込みください。なお、従来とおりの振込みをされる方には2月初旬に振込口座をご連絡いたします。年会費は5,000円です。

4. 平成8年度、13年度、18年度、23年度および28年度の初回登録者の方へ、登録更新のお知らせ

平成29年1月1日付けで登録した森林インストラクターの登録期間が令和3年12月31日で終了となります。特に資格を平成28年に取得された方は本年末が5年に一回の最初の資格更新時期に当たります。すでに全国森林レクリエーション協会から連絡があったかと思いますが、この更新をしない場合、FITの会員資格も失う(会則第4条)こととなりますのでご注意ください。

2021年度も「FIT友の会」資格取得支援講座の受講生から7名の新しい仲間ができました。「FIT友の会」講師・スタッフの皆様方に御礼申し上げます。

私の好きなフィールド

やすらぎの森

大森 征雄

私の好きなフィールドは「都民の森と三頭山」です。

三頭山は平成2年に開園した「檜原都民の森」の西端に位置し山梨県に接しています。奥多摩三山の最高峰で標高は1531mあり、頂上（西峰）からは富士山や雲取山方面の展望は良好です。都民の森の開園に伴い駐車場、売店、案内所その他の施設ができ、いくつものハイキングコースが整備されました。

都民の森には豊かな自然が溢れています。変化に富んだ多くのコースが用意されています。案内所に置いてある地図（パンフレット）を片手に子供から高齢者まで、体力に応じたコースを散策できます。

駐車場から森林館への路では春から秋にかけてフッキソウ、シラネアオイ、レンゲショウマ、サラシナショウマ、カメバヒキオコシ等々多くの草花が出迎えてくれます。森林館から三頭大滝へ続く大滝の路は森林セラピーロードとして東京で初めて認定された森林浴コースと聞いています。大滝までは平坦な道を約20分ですが、道沿いにはウリノキ、サラサドウダン、タマアジサイをはじめ多くの木の花や、草花があり、私の足では1時間以上かかります。

毎年夏には沢沿いの、ブナの路から三頭山中央峰周辺のホツツジに会いに行きます。この道沿いではジュウモンジシダ、ミヤマクマワラビ、フクロシダ、ギンバイソウ、テバコモミジガをはじめ多くの野草、シオジやサワグルミなどの大木が見られます。

足元ばかり見て歩いているとホツツジには合えませんが周囲に気を配りながら歩くようにしましょう。2年ほど行っていないので来年は？ぜひ行きたいと思っています。

私が、三頭山からの下山によく利用するのが回廊の路です。この路は見晴らし小屋の東側の山腹に設けられた、ほぼ水平の路で人に会うこともなく鞆口峠に出られます。秋には石山の路、深山の路を紅葉を眺めながら歩きます。春には生活の森で、山菜の路、白樺の路を散策するのもいいものです。森林館にはレストランや休憩室があり自由に利用できるのも、ひと汗かいたら森林館で一休みするのもいいでしょう。



山頂のホツツジ

この森は落葉広葉樹の森です、常緑広葉樹はアセビ、ヤマグルマ、ヒカゲツツジ、ミヤマシキミ、ツルマサキぐらいです。豊かな自然、豊かな水、新鮮な空気、ブナの森から発散されるフィトンチッドが活力とやすらぎを与えてくれるのでしょうか。檜原都民の森と三頭山は癒しの森です。

私のお気に入りのフィールドは三浦アルプスです。逗子市と横須賀市との境を源流とする森戸川は西進し相模湾に注ぎます。その森戸川をカタカナのコの字状に丘陵が取り囲んでいます。東側は逗子市と横須賀市、南側は葉山町との境界尾根です。北側は逗子市にあり、それぞれ南尾根、東尾根、北尾根と呼んでいます。標高は200mあまりと低いのですが、意外と急峻で、そのことが現在でも開発から逃れている大きな理由です。車は一切入れません。各方面は住宅地に隣接しているので、朝の散歩コースにもなっています。逗子市のグリーンヒルという住宅団地の児童公園から5分で北尾根に行かれます。ロングコースでは5～6時間かかるコース取りもでき、1日たっぷり遊べます。道も階段などの人工物はほとんどなく、人工の臭いがしないところが魅力です。狭い三浦半島ではこれだけの大きさの自然は貴重です。もっともほとんどが2次林ですが、ほぼ手入れがされている様子はありません。JR東逗子駅や南郷上ノ山公園からは家族連れで楽しめる二子山、また京急田浦、安針塚、逗子・葉山各駅からも各尾根に行かれ飽きない。小人数でのハイキングでは各尾根や派生した尾根を縦走、単独でチョット冒険気分を味わいたいならバリエーションルートが結構あります。草いきれのなか山並みを眺めながら一人弁当を頬張るのもいいですよ。



7月初旬



植生は2次林としてはコナラのほかにはオオシマザクラ、カシ類が多いです。特筆すべきはこのカシは一部植栽されたマテバシイはありますが、アカガシがとて多いことです。それだけ手付かずだったということです。その他、スギ・ヒノキの植林帯(地元高校が植林)があり丘陵、沿海性植物は少しずつではあり

ますが万遍なく生えています。目立って多いのがキチジョウソウです。地元では雑草扱いで刈り払い機で刈っていました。またホウライカズラ、イズセンリョウ、タニジャコウソウ、マネキグサなど暖地性の植物もあります。二子谷と呼ばれる源流域では早春ムカゴネコノメソウがかわいらしい黄色の花を咲かせます。遷移が激しくしばらく行かないと様子がすっかり変わっていきたりします。唯一電力会社が鉄塔周辺を定期的に草刈りしているので、いくらか多様性も維持されていると感じます。逆に貴重種を刈っている時もあり、きめ細かく管理すればもっと良い森になるでしょう。



いずれにしても、一人で楽しむのには格好のフィールドです。なお、初めて行かれるメンバーには詳細図をお送りしますのでお申し付けください。

山への行き帰りのバスの中から、あるいは車の走る道を歩いていると、はるか上の方に白いガードレールが見えることがあります。あんなところまで車が行くんだと思って、登山地図をよくよくみると目立たないように道路が描かれています。登り口を探して行ってみると、絶景が楽しめたりします。

丹沢の「山と高原地図」の赤い線部分を一つ一つ踏破しているうちに、うっすらと描かれている道の存在が気になるようになり、林道も歩きはじめました。

林道は、確かに距離が長く、もう参ったと思われられることはしばしばですが、大部分が舗装された道を等高線に沿って歩くので、ずんずん進める。車止めがあると、車も人もほとんど通らず、ほとんど独占状態。林道を歩いた実感としては、広葉樹に囲まれていることが多い(対して、登山道はスギ・ヒノキの中を延々と歩く場合が多く、味気ない)、野鳥の集団に遭遇することが多い、実がたわわになったクサギを見かけることがよくある(関心を持つ人が通



まだ歩けたころの玄倉林道。フサザクラの並木道。背景は丹沢主峰。

る可能性が皆無に思われる)、などがあります。また、等高線に沿って曲がりくねって進むと、山と谷が強く意識され、地形がよくわかるようになります。

林道は次々と新設され、地図にもあまり反映されていないようです。地図上では終わっているのに、先があるので進んでみると、はるか離れた地点で繋がっているのを発見することもあります。一方、大きな台風や豪雨によって大崩落が起き、通行不能になったり、数年かけて復旧して通行可能になっていたり、現場に行ってみないと判らないことがよくあります。つまりハプニングに見舞われつつ、ルートを発見する楽しみがあります。

初めての人は、大山や塔の岳の南や東側の林道などが行きやすいでしょう。例えば、日向林道は、カメラを持った人が大勢集まる楽しいところです。タカもよくみかけます。この道の終点は行き止まりですので、戻って往復するか、途中で下または上に抜ける道を探します。また、ヤビツ峠行きのバスに乗ると終点直前に林道入り口というバス停がありますが、降りる人はまずいません。ここ(表丹沢林道)は、



すぐ先にウソがいました(表丹沢林道)。

冬の猟季は鉄砲を持った人が集まっています。にこやかに挨拶してさっさと通り過ぎましょう。

その他、秦野峠林道(丹沢湖-寄)、虫沢林道(秦野峠-寄)、水の木幹線林道(明神峠から北へ、西丹沢は鳥が元気！)、神之川林道(音久和-犬越路隧道)、唐沢林道(札掛-煤ヶ谷)、法論堂林道(煤ヶ谷-半原越)などなど。丹沢山東側の堂平(塩水林道)も感動ものの絶景ですが、まだ歩きに行くのは難しそうです。公的機関が通って欲しくないと言っているところは、無理して通らずにすむよう、余裕をもつ

てハプニングを楽しみながら歩きましょう。

なお、林道の範囲は正確なものではなく、
おおよその場所の目安として書きました。



ミツマタのお花畑もあちこちで見かけます。



<事務局便り>

今年も早いもので師走を迎え、残り日数も少なくなってきました。新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言に伴い、FITも年初より計3回延べ214日間もの活動自粛期間がありました。また10月1日よりのイベント再会後も天候不順などでの中止もあり、昨年に引き続き、満足な活動が出来なかった年ではなかったかと思えます。



ワクチン接種も進んでいますが、感染の第6波が確実に来るとの専門家の見方もあり、今後も、感染防止に十分な対策を講じて活動を実施していただくようお願い致します。今年の合格者も発表され、FITに新たな仲間を迎える季節となりました。新合格者への説明会、入会手続き、新年観察会に引き続き総会開催と行事が目白押しです。会員の皆様にもさまざまな場面でご協力をお願いすることになりますが、よろしく願いいたします。

●会員情報

会員数(2021年11月30日現在) 34
6名。友の会は10名
以上



フォレスト通信Vol.133

発行者 森林インストラクター東京会

編集 広報部会

事務局長 藤岡 眞

住所 〒150-0022
東京都渋谷区恵比寿南3-9-23-501
090-1665-4589

メールアドレス: sfujioka0206@yahoo.co.jp